

# 幌延深地層研究センターからのお知らせ

サイクル機構では、平成14年度調査研究計画に基づく試錐（ボーリング）調査を実施します。9月2日より現場の整地・造成や、櫓（やぐら）の組立等の準備工事を実施し、10月初旬より試錐孔の掘削を開始する予定です。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 試錐調査の概要

直径10～20cm程度の孔を深さ520mまで掘削し（3本）、地下深部の岩石を採取し、この岩石を用いた室内試験および、試錐孔を用いた調査・試験を実施します。

これらの調査・試験により、地下の地層の重なりや地質構造、岩盤の強度や地下水の性質などのデータを取得します。  
この結果は、地質環境モデルの構築や地下施設の設計に反映します。



○平成14年度試錐調査実施場所

試錐調査の例（HDB-1孔）

・HDB-3、HDB-4、HDB-5

	H14/9	H14/10	H14/11	H14/12	H15/1	H15/2	H15/3
準備作業 (敷地造成、試錐機材搬入・据え付け)	■						
試錐孔の掘削		■		■		■	
試錐孔を用いた調査・試験			■		■		
試錐孔および周辺の整備						■	

### ●お問い合わせはこちらへ！

核燃料サイクル開発機構 幌延深地層研究センター  
〒098-3207 北海道天塩郡幌延町宮園町1番地8  
TEL：01632-5-2022 FAX：01632-5-2033 眞鍋、杉之原